

具体的な選抜方法と、資質・能力との関係【詳細】

【一般選抜】

一般入試(A)・(B)

一般入試(A)および(B)においては、各学科における教育内容に関連の深い教科(英語・数学・理科)に関する個別学力検査を、記述式の筆記試験を行うことにより実施します。複数教科の試験結果に基づき、各学科における修学に必要な「基礎学力と論理的思考力・表現力」、「国際性・多様性」を有している人材を選抜します。

一般入試は(A)および(B)いずれも全学科で実施します。

統一入試

統一入試においては、各学科における教育内容に関連の深い教科(数学・理科)に関する個別学力検査を、記述式の筆記試験を行うことにより実施します。二教科の試験結果に基づき、各学科における修学に必要な「基礎学力と論理的思考・表現力」を有している人材を選抜します。

統一入試は全学科で実施します。

共通テスト利用入試(前期)・(前期+)・(後期)

共通テスト利用入試(前期)・(前期+)、および(後期)においては、各学科が指定した科目の大学入学共通テストの評点に基づき、高等学校段階での学習到達度を評価します。各学科における修学に必要な「基礎学力と論理的思考・表現力」、「国際性・多様性」を有している人材を選抜します。

共通テスト利用入試は(前期)・(前期+)・(後期)いずれも全学科で実施します。

【総合型選抜】

総合入試(A)・(B)

総合入試(A)および(B)においては、出願要件を満たしている者について出願書類(調査書、志望理由書、その他の資料)に基づく書類審査を第一次選考として実施します。第二次選考では、第一次選考合格者に対して面接試験、および筆記試験による基礎学力検査ないしは口頭試問を実施します。これらの試験の結果に基づき、「基礎学力と論理的思考・表現力」、「コミュニケーション力」、「社会的責任感・倫理観」、「興味関心・学修姿勢」、「国際性・多様性」を総合的に評価することにより、入学後の学修に対する適性を備えた人材を選抜します。尚、生物学科が実施する総合入試(B)においては、上記五つの評価項目の内、「興味関心・学修姿勢」を重視して評価します。また、物理学科が実施する総合入試(A)・(B)の第二次選考においては、課題レポートの提出を課しています。

総合入試(A)は全6学科で、総合入試(B)は化学科を除く5学科で実施します。

【学校選抜型選抜】

推薦入試(公募制)

推薦入試(公募制)は化学科のみ実施します。高等学校の学校長の推薦に基づき、化学科への入学を強く希望し、かつ出願要件を満たしている者に対して化学・英語の適性検査と面接試験を実施します。適性検査と面接試験の結果と調査書をはじめとする出願書類の内容に基づき、「基礎学力と論理的思考・表現力」、「コミュニケーション力」、「社会的責任感・倫理観」、「興味関心・学修姿勢」、「国際性・多様性」を総合的に評価することにより、入学後の適性を備えた人材を選抜します。

推薦入試(指定校制)

推薦入試(指定校制)においては、理学部の各学科が指定した高等学校の学校長の推薦に基づき、各学科への入学を強く希望し、かつ出願要件を満たしている者に対して面接試験を実施します。面接試験の結果と調査書をはじめとする出願書類の内容に基づき、「基礎学力と論理的思考・表現力」、「コミュニケーション力」、「社会的責任感・倫理観」、「興味関心・学修姿勢」、「国際性・多様性」を総合的に評価します。

推薦入試(指定校制)は全学科において実施します。

2024年4月1日改正